



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 三共生興株式会社

コード番号 8018 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 賢祥

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室ゼネラルマネージャー (氏名) 下川 浩一

TEL 06-6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	15,903	△12.3	786	△25.5	988	△25.8	618	△35.5
27年3月期第2四半期	18,135	△5.3	1,055	2.6	1,332	8.0	958	7.3

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 △31百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 1,950百万円 (△26.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	13.66	—
27年3月期第2四半期	21.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	55,270		34,706			62.2
27年3月期	57,647		35,420			60.9

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 34,365百万円 27年3月期 35,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	—	—	15.00	15.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	37,000	△3.1	3,100	△4.9	3,300	△13.0	2,400	△25.2	53.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	60,000,000 株	27年3月期	60,000,000 株
28年3月期2Q	14,737,341 株	27年3月期	14,737,341 株
28年3月期2Q	45,262,659 株	27年3月期2Q	45,262,748 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）におけるわが国経済は、政府、日銀による経済政策、金融政策を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、一方で中国経済の減速傾向が鮮明となり、その影響も徐々に拡大、顕在化してくるなど、依然として不安要因の残る先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましても、一部にインバウンド需要が見られたものの、長期に亘る消費低迷の流れは変わらず、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、販売効率、経費構造の見直しを進めるなど収益力の向上に努め、一部に改善効果も見られましたが、海外取引では、主力の中国向けの取引低迷の影響を受けました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比12.3%減の15,903百万円、営業利益は前年同期比25.5%減の786百万円、経常利益は前年同期比25.8%減の988百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比35.5%減の618百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

ファッションブランド商品の販売におきましては、国内市場では、消費低迷が依然として続いており減収となりましたものの、不採算店舗の閉鎖など販売効率の見直しや徹底した経費削減に努めたこともあり増益となりました。

しかしながら、海外市場では、主力の中国市場で消費低迷の影響や出荷の遅れなどもあり、減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比10.5%減の7,879百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比36.6%減の480百万円となりました。

② 繊維生活関連事業

繊維製品OEM事業におきましては、取引先企業による取扱いブランドの絞り込みなど厳しい市況の影響もあり減収となりましたが、事業の効率化、経費の削減に努めたことにより増益となりました。

寝装品、寝具などの販売におきましては、商品の低価格化や競合他社との競争激化など依然として厳しい状況が続いております。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比13.0%減の7,487百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比1.9%減の194百万円となりました。

③ 不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとする東京・横浜・神戸等の不動産に係る賃貸事業におきましては、売上高は前年同期比1.4%増の902百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比3.5%増の270百万円となりました。

④ その他

ビルメンテナンス事業、内装工事業等におきましては、売上高は前年同期比31.8%減の458百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比12.0%増の26百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて886百万円(4.5%)減少し、18,877百万円となりました。これは現金及び預金が1,079百万円減少、受取手形及び売掛金が708百万円減少した一方で、商品及び製品が907百万円増加したことなどによるものであります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,490百万円(3.9%)減少し、36,392百万円となりました。これは投資有価証券が1,251百万円減少、土地が257百万円減少したことなどによるものであります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて886百万円(6.2%)減少し、13,324百万円となりました。これは短期借入金が1,150百万円減少、未払費用が241百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が721百万円増加したことなどによるものであります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて776百万円(9.7%)減少し、7,239百万円となりました。これは繰延税金負債が438百万円減少、長期借入金が260百万円減少したことなどによるものであります。

⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて714百万円(2.0%)減少し、34,706百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が824百万円減少した一方で、純資産から控除している為替換算調整勘定が177百万円減少したことなどによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて901百万円減少(前第2四半期連結累計期間は735百万円の減少)し、当第2四半期連結会計期間末には、6,342百万円(前第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は5,927百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上額が929百万円(前第2四半期連結累計期間は1,332百万円の計上)、売上債権の減少額が723百万円となった一方で、たな卸資産の増加額が896百万円あったことなどにより、934百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は823百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入が286百万円、定期預金の払戻による収入が177百万円となった一方で、有形固定資産の取得による支出が160百万円あったことなどにより、271百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は120百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額が1,150百万円、配当金の支払額が677百万円、長期借入金の返済による支出が260百万円あったことなどにより、2,136百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は1,472百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績につきましては、平成27年5月15日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等
を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資
本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしま
した。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取
得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更い
たします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行って
おります。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財
務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社
株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、
連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に
関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更
しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事
業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から
将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,421	6,342
受取手形及び売掛金	7,162	6,453
商品及び製品	4,334	5,242
仕掛品	13	4
原材料及び貯蔵品	11	9
その他	823	827
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	19,764	18,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,613	8,465
土地	3,787	3,530
その他（純額）	452	419
有形固定資産合計	12,853	12,414
無形固定資産		
商標権	5,164	5,273
その他	217	246
無形固定資産合計	5,381	5,520
投資その他の資産		
投資有価証券	18,911	17,659
退職給付に係る資産	8	8
その他	1,375	1,436
貸倒引当金	△647	△647
投資その他の資産合計	19,647	18,457
固定資産合計	37,883	36,392
資産合計	57,647	55,270

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,742	4,464
短期借入金	7,750	6,600
1年内返済予定の長期借入金	520	520
未払費用	1,058	817
未払法人税等	465	437
その他	673	484
流動負債合計	14,210	13,324
固定負債		
長期借入金	1,060	800
繰延税金負債	5,382	4,943
退職給付に係る負債	599	581
その他	974	914
固定負債合計	8,016	7,239
負債合計	22,227	20,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,165	6,165
利益剰余金	23,035	22,974
自己株式	△5,235	△5,235
株主資本合計	26,966	26,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,219	8,395
繰延ヘッジ損益	0	△12
為替換算調整勘定	△1,097	△919
退職給付に係る調整累計額	△6	△3
その他の包括利益累計額合計	8,116	7,459
非支配株主持分	337	341
純資産合計	35,420	34,706
負債純資産合計	57,647	55,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	18,135	15,903
売上原価	10,819	9,304
売上総利益	7,315	6,598
販売費及び一般管理費	6,260	5,811
営業利益	1,055	786
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	197	213
為替差益	12	—
その他	143	90
営業外収益合計	357	306
営業外費用		
支払利息	43	33
店舗等除却損	9	33
為替差損	—	30
その他	26	6
営業外費用合計	80	104
経常利益	1,332	988
特別利益		
固定資産売却益	—	7
特別利益合計	—	7
特別損失		
特別退職金	—	66
特別損失合計	—	66
税金等調整前四半期純利益	1,332	929
法人税、住民税及び事業税	407	355
法人税等調整額	△40	△51
法人税等合計	367	304
四半期純利益	965	625
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	958	618

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	965	625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	618	△824
繰延ヘッジ損益	15	△13
為替換算調整勘定	350	177
退職給付に係る調整額	1	2
その他の包括利益合計	985	△656
四半期包括利益	1,950	△31
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,943	△38
非支配株主に係る四半期包括利益	7	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,332	929
減価償却費	391	365
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
受取利息及び受取配当金	△200	△215
支払利息	43	33
固定資産売却損益(△は益)	—	△7
売上債権の増減額(△は増加)	△388	723
たな卸資産の増減額(△は増加)	△743	△896
仕入債務の増減額(△は減少)	1,022	719
投資事業組合運用損益(△は益)	△15	△42
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
役員退職慰労金の支払額	△9	△3
厚生年金基金脱退損失引当金の増減額(△は減少)	△120	—
役員賞与の支払額	△62	△62
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△9	△18
未払消費税等の増減額(△は減少)	△92	△264
その他	142	△239
小計	1,287	1,019
利息及び配当金の受取額	200	215
利息の支払額	△42	△34
法人税等の支払額	△622	△265
営業活動によるキャッシュ・フロー	823	934
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12	—
定期預金の払戻による収入	—	177
有形固定資産の取得による支出	△120	△160
有形固定資産の売却による収入	10	286
投資有価証券の取得による支出	△7	△8
投資有価証券の売却による収入	0	—
投資事業組合からの分配による収入	15	—
その他	△7	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120	271
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△374	△1,150
長期借入金の返済による支出	△373	△260
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△678	△677
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△41	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,472	△2,136
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	29
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△735	△901
現金及び現金同等物の期首残高	6,663	7,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,927	6,342

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	ファッション 関連事業	繊維生活 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,774	8,235	659	17,669	465	18,135	—	18,135
セグメント間の内部売 上高又は振替高	28	371	229	630	207	837	△837	—
計	8,803	8,606	889	18,300	672	18,972	△837	18,135
セグメント利益	757	198	261	1,217	23	1,240	△185	1,055

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△185百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△203百万円及びセグメント間取引消去等18百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	ファッション 関連事業	繊維生活 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,809	7,109	688	15,607	295	15,903	—	15,903
セグメント間の内部売 上高又は振替高	70	377	213	661	163	824	△824	—
計	7,879	7,487	902	16,269	458	16,727	△824	15,903
セグメント利益	480	194	270	945	26	972	△185	786

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△185百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△160百万円及びセグメント間取引消去等△25百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。